

ふくしま県人会だより

第44号
令和3年8月
福島県人会
北海道連合会

福島県人会北海道連合会会長

就任のごあいさつ

福島県人会北海道連合会

会長 近藤 康弘



七月二十一日福島県あづま球場でソフトボール大会が、晴天の下で日本対オーストラリア戦が開始されました。

震災から十年目のオリンピックの開催が福島から世界へ、勇気と希望に燃えて戦う選手は日頃の練習の成果を発揮されて、世界二百五ヶ

国から参加の選手が友好を深めて、感動のドラマを見せて下さる事を期待します。

昨年から続くコロナ禍の中での大会は、無観客での試合が続きますが、前回の東京オリンピックから五十七年目となる中で、スポーツの祭典としてテレビの前の観客を感動のルツボとしています。

無事に一人一人が三密を守り、規則を守って大会が成功する事を祈る毎日です。

さて挨拶が遅れましたが、全道の県人会会員の皆様いかが御過しでしょうか。

令和三年五月二十六日付で書面により開催されました第四十九回福島県人会北海道連合会総会において、第十代目の会長に就任しました美幌県人会の近藤康弘です。

前任の田中四郎氏より受け継ぎましたが浅学非才の私にとって荷の重さを感じていますが、一生懸命戦わせていただきます。

考えて見れば道東で帯広市、紋別市、釧路市を始め遠軽町、美幌町、

弟子屈町、標茶町、別海町、浜中町の三市六町で初めての連合会会長の誕生であり、少しでも福島県の復興に成るように頑張りたいと思っています。

そしてコロナ禍の終息を願いながら、令和四年開催予定の第五十回連合会総会には、福島県の内堀雅雄知事を北海道にお迎えしたいと切に願っています。

今年は何年になく猛暑が続く中で、会員の皆様には身体に気を付けて下さることを願って、私の挨拶といたします。

連合会の活動

第四十九回福島県人会北海道連合会総会について

第四十九回福島県人会北海道連合会総会は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため書面開催となりました。

次回開催地については、暫定的に道東地区での開催を予定していますが、開催の可否も含め、今後開催する役員会で決定する予定です。

また今回、長年県人会の発展に寄与された皆様に、福島県知事、福島県人会北海道連合会会長からの感謝

状が贈られました。うち知事感謝状の贈呈については、五月から六月にかけて、札幌市に新型コロナウイルスの緊急事態宣言の発出及びまん延防止等重点措置の適用がなされており、市外との往来自粛が求められていた状況であったため、当初の予定から延期し、令和三年七月十四日（水）に、受彰者である千歳福島県人会の五島会長のご自宅で行いました。

【感謝状受彰者】

福島県知事

五島 洋子 様（千歳）

福島県人会北海道連合会会長

朝倉 利光 様（札幌）

市澤 豊 様（札幌）

庄司 文江 様（旭川）

千葉 キヌ 様（別海町）

刈谷 敏子 様（美幌町）

井手 武 様（千歳）

長谷川 武 様（千歳）

阪本 征雄 様（千歳）

水田 米子 様（千歳）

飯島 真 様（千歳）



札幌福島県人会 会長挨拶
 札幌福島県人会
 会長 稲村 宗彦

会員通信



【長谷川所長から五島会長へ、県知事感謝状授与の様子】

福島県人会の皆様、新緑夏の頃清々しくお過ごしのことと存じます。この度、前会長田中四郎様の後任として、札幌福島県人会会長の任命を拝しました、稲村宗彦でございます。

まだまだ未熟者でありますので、県人会役員、会員皆様の御協力を頂いて、母県を想い楽しく愉快に団結ある若々しい会になれる様、精進して参りますので、どうか宜しくお願いいたします。

出生地は会津坂下町です。近くに昭和の大歌手春日八郎の別れの一本杉の石碑があります。

さて、母県の震災から早くも十年がたちました。

この間、母県の皆様の懸命な努力と国内外からの温かい御支援により、福島県は着実に復興への歩みを進めております。

その様な中、新型コロナウイルス感染が世界各国で急速に拡大、私達の生活は一変しました。一日も早くコロナウイルスが終息出来ますと共に皆様と御家族様の幸福、健康で明るい未来、商売繁盛を祈念しまして、挨拶とさせていただきます。

「あれから四十八年」

旭川福島県人会
 婦人部長 高木 厚子

二十歳で福島から旭川に嫁いで四十八年になります。

昭和四十八年二月五日、旭川に渡るのに、福島から青森まで六時間、青函連絡船で四時間：函館から旭川まで六時間：と、とても長い初めての旅でした。長万部で猛吹雪にあい三時間の立ち往生です。電報を打って待っていてくれる高木の両親に連絡をしたものです。

極寒の地に嫁ぐにあたり、私の親は、南に行くのなら安心でも、旭川は三月で雪が三尺も有る所なそうな…と心配をしておりました。でも反対したって行くでしょう…？と言われて来ました。

福島から来た若い嫁だから、と親戚一同はとても大事にしてくれました。直ぐに仕事に就き、二十年間木材会社の事務をしました。その時の関わりの出来た方々にも優しくして頂きました。その後二十年前から、グループホームで介護に携わり、介護福祉士、介護支援専門員の資格を取りながら現在も働いております。振り返ったり弱音を吐く時間も無かった様に思います。二人の子供も独立し、もう二年で七十歳になり

ます。

本当に人間味のある方々に恵まれて旭川の人間になりました。

福島県人会を知り入会して十年でしょうか：いろんなイベントに参加させて頂いて福島の話聞かせて頂けるのも本当に楽しいものです。

コロナ禍でイベント、特に連合会総会が中止になっているのも残念です。

来年こそは、コロナもワクチン接種七十%以上位になると、もつと自由な世の中に戻ると思われます。その時には、また皆さんとお会い出来ます事を楽しみにしております。

特に函館の皆様、開催を心待ちに致しております。

コロナ禍のほほ笑み

旭川福島県人会
 條 元彦

「ワイイ・ワイイ」「キヤキヤー」と園児の歓声が響いて来た。とても微笑ましくしばし足を止めて見入っていた。

長引くコロナ禍にあつて六月二十日までの緊急事態宣言、二十一日からはまん延防止等重点措置に変更になった。ある晴れた日、気温も

上がり気分良くウォーキングに出かけた。日本都市公園百選にもなっている常磐公園から石狩川河川堤防伝いに新橋を渡っていると眼下には、リベラルライン旭川パークの噴水プールが目にとまった。噴水プールの周辺には近郊の園児たちが先生と母親達の見守る中、プールサイドで水に入れるのを今か今かと、先生の注意事項を聞いていた。

先生から「プールに入っても良いですよ」の声に「ワイー・ワイー」「キヤーキヤー」と園児等は一斉にプール内に散っていった。プールは円形で広く水深は子供の膝下程度の浅いプールで中央には噴水が扇状に吹き上げている。暑い日の涼を求める場所としては最高の環境だと思った。

「〇ちゃんこつちだよ」、「キヤーこれナーニ」「ここ面白いよ」とはしゃぐ声、バチャバチャと泳ぎ出す園児達、服やズボン、スカートも濡れるのはおかまいなしの状態。見守る先生や母親も大変だろうなと思いつつも、目を細めて見入っていた。

コロナ禍で何かと行動が制限される中、園児の様に制限の中にも元気な声や姿を見ると何か心が温かくなりほほ笑ましく思えて来た。帰りに携帯で写真をパチリ。それから

しばし眺めた場所からウォーキングを再開、旭橋を渡り常磐公園を散策し帰路についた。日々続けるウォーキングだがプールで戯れる園児に元気を戴いたことは後期高齢者にとつて大変有り難い日となった。園児達よありがとう。

「夏の一句」

旭川福島県人会

丸山 安英

みちのくの 思いつくせぬ

蝦夷の夏

安積平野や阿武隈川に

思いをはせるわが家から

今日も流れる石狩の川

流れ流れた転勤族で

流れ着いた旭川

想いはふるさと三春駒

暑さも涼しい 水しぶき

北海道にも夏が来た

わが街の 浄水場をふと眺め

思い浮かんだふるさとの

安積疎水が懐かしい

いつまでも 続くなコロナ

五輪だぞ

暑さとコロナに負けないで

美幌町福島県人会

幹事長 佐藤 登

県人会の皆様、暑中お見舞い申し上げます。

コロナもなかなか収束しない中オリンピックも始まり、熱い戦いが繰り広げられておりメダルも獲得しております。ワクチンもだいぶ出回っておりますが収まりません。うまく付き合って行くしかないと思います。各県会も高齢化が進み減少気味ですが、今居る会員が一人一人声を掛け合って会員増を目指し維持していかなければ成らないと思います。

先日、美幌の県人会の打地前会長が亡くなり悲しい寂しい事に成りました。その節は福島県知事を始め各会員の皆様からたくさんのお電話、供花、香典を頂きありがとうございました。我々美幌の会員も微力ながら協力させて頂き見送る事が出来ました。

さて翌年令和四年は連合会総会を美幌県人会が担当で開催予定であります。今の所コロナの関係で状

況を見守りながら準備に取り組んで居る所であります。開催の際は是非多くの皆さんで会を盛り上げて頂く様切にお願い申し上げます。宜しくお願い致します。

最後に成りますが暑さとコロナに負けない様体に気を付け水分を十分に取り込んで下さい。

美幌の思い

美幌町福島県人会

会計監査 刈谷 敏子

福島県人会、美幌の顧問であった、打地健一さんが、六月三十日で亡くなり、七月三日、お通夜に行きました。福島県知事から、素晴らしい献花とお電をいただきました。昨年の二月二十三日(日)に、総会、親睦会で会った時、顔を合わせ話したのが、私にとつて最後でした。コロナウイルスで、会合も中止で、残念に思っています。私にとつて、実家父親の一周忌、三回忌も帰郷できず、悔しい思いをしています。私ばかりでなく、多くの人もそんな思いをしている人、たくさんいます事と思えます。

東日本大震災から、十年を迎え、辛い思いを過ごして来た人が多くいることでしょう。私も美幌に来て、

五十年になり、母親は四十六才で、息子は七才で他界して、辛い日々を過ごして来ました。私にとつて一生震災は忘れる事はない、朝、夕、東北に向かつて、祈り続けています。いつも心の中が、穴があいたような時に、美幌福島県人会の阿久津さんが、県人会に誘ってくれました。県人会の人達と、会って話ができて、心が和み、ほっとして幸せを感じています。

台風十六号では、我が母校も災害に遭つて、この美幌中学校の定期演奏会で、母校の楽器が使えなくなり、募金運動して下さったのです。感謝の心で、今でも忘れません。

昨年、朝ドラ「エール」古関裕而の作曲した、校歌、応援歌、小さい時から聞いたメロディー、市町民歌たくさん作曲した、どの店の閉店する時にも流れる、メロディー「別れのワルツ」素晴らしい作曲家がいた事、「誇り」に思いました。又、古関裕而の記念館の中、デザインを手掛けたのが、私の弟の子供だと聞き、「誇り」に思いました。

最後に、福島県人会北海道連合会長の感謝状と素晴らしい記念品を頂き、最高の幸せを感じています。美幌福島県人会の人達と、「いつまでも」会って話が出来るよう、願っています。県人会の人達に、心から

感謝しています。有り難う御座います。



【向かって右から佐藤幹事長、刈谷さんご夫妻】

新会員の紹介

札幌福島県人会

幕田 光佑 様 (出身 伊達市)

函館福島県人会

佐藤 郁夫 様 (出身 伊達市)
「あんぽ柿の里から道南知内へ」



私は昨年(令和二年)一月に入会しました。

出身は「あんぽ柿」発祥の地・旧伊達郡梁川町(現伊達市)。実家は貧乏農家でしたので、高校は定時制にし早く働こうと考えましたが、中学の担任が強く勧めてくれた奨学金により、保原高校だけでなく東北大学にも進学できました。

大学卒業後、日本銀行に入りました。仕事は金融機関指導・考査、内部管理(人事制度企画・労務)などがメインでしたが、東北人の打たれ強さを見込まれ「君なら死にそうにない」とおだてられて、事業費一千万円近くの新電算センター建設プロジェクトや四年余りに及ぶ破綻金融機関の処理などにも従事しました。五十四歳の時に、再建を進めていたみちのく銀行の常勤社外監査役となり、取締役・執行部からは「煙たがられる監査役」、女性行員や若い行員からは「よく話を聞いてくれる監査役」として十二年間経営のチェック役として汗をかきました。

リタイヤを機に、予定通り家内の実家道南知内町に住み始めて三年。いたって元気な九十一歳の義母と一緒にの老々家族です。家内の家は八百年続く雷公神社宮司の家系(家内の亡祖父が二十四代目)とあって毎

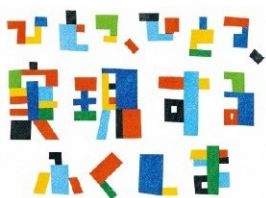
朝神棚に二礼二拍手一礼してから一日を始めます。ふだんは自家菜園での野菜作りのほか、地元や函館の方々と卓球・ゴルフ・テニスを楽しみ、また函館大学の聴講生になり(今年は「会社法」を受講)、ボケ防止に努めています。

ところで、わが佐藤家から江戸末期に分家した家族が、明治時代にハワイに渡り旅行業やアロハシャツ製造業を営みました。現当主のジェームズ・佐藤は、数年前までホノルル福島県人会会長として何度も来県し、母県との友好親善、震災復興支援などに努めていました。

そうしたジェームズの姿を見ておりますので、私も県会のみならず及び母県のために少しは汗をかきたいと思っています。よろしくお願ひします。

旭川福島県人会

横山 盛一 様 (出身 浪江町)



福島県からのお知らせ

全国新酒鑑評会にて、

福島県が史上初となる

「金賞受賞数八回連続日本一」

を達成しました。

独立行政法人酒類総合研究所が開催している令和二酒造年度「全国新酒鑑評会」において福島県から三十二銘柄が入賞し、そのうち十七銘柄が金賞に選ばれました。

今回の鑑評会において、福島県の金賞受賞数は長野県と並んで全国一位であり、また今回の記録によって、「金賞受賞数八回連続日本一」を達成しました。

福島県は平成二十四酒造年度から、全国新酒鑑評会における金賞受賞数日本一の連続記録を伸ばし続けており、今回でその記録を更新することとなりました。(なお、令和元酒造年度については、新型コロナウイルスの影響で、最終審査の決審自体が中止となり、金賞は選定されませんでした。)

引き続き、「ふくしまの酒」を応援くださいますよう、よろしくお願いたします。

また、福島県では今年度新たに、県産酒に特化したインスタグラムを開設いたしました。インスタグラムを利用されている方がいらっしやいましたら、ぜひご覧ください。



【令和二酒造年度金賞受賞酒】



くだもの消費拡大委員会による
北海道でのものPRが
実施されました。

七月十二日(月)から十三日(火)

の二日間、北海道内(旭川市・札幌市)にて福島県くだもの消費拡大委員会によるものPRが実施されました。福島県からはミスピーチキヤンペーンクルー(佐藤晴香さん、穂積佳奈さん)をはじめ、主要産地である伊達市や国見町、全農福島県本部、ふくしま未来農業協同組合が来道しました。新型コロナウイルスの影響により、例年実施されていた懇親会関係は中止となりましたが、マスク等の感染防止対策をした上で、市場や関係機関を訪問し、旬を迎える福島県産ものおいしさをPRしました。



【札幌中央卸売市場表敬訪問の様子】

「ふくしまプライド。」フェアの開
催及び当所の桃PR活動について

令和三年七月三十一日(土)から八月一日(日)まで(一部店舗は七月三十日(金)から)、旭川市内及びその周辺の道北アークス、札幌市内のホクレンショップ(四十九条店、新発寒店)にて、福島県産のもの等を販売する「ふくしまプライド。」フェアが開催されました。

それに先立ちまして、当所ではHTB(北海道テレビ放送)、STV(札幌テレビ放送)、北海道新聞社、読売新聞北海道支社を訪問し、また毎日新聞北海道支社には取材のため来所いただく形で、フェアのPRを実施しました。



【HTB(北海道テレビ放送)訪問の様子】

併せて、フェア当日は札幌市内のホクレンショップ二店舗を訪問し、職員によるPRを行いました。

来店された皆様に福島のものをお買い上げいただき、また、「福島のもものが好き」とのお客様からの嬉しいお声をいただきました。

なお、店舗でのPRは、新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドラインに従って行いました。



【ホクレンショップ新発寒店でのPRの様子】

IBEXエアラインズによる 新千歳―福島間の期間限定便就航 及び各種キャンペーンのご案内

会員の皆様には改めてのお知らせとなりますが、令和三年七月十六

日(金)から十月二十日(土)まで、新千歳空港と福島空港の間に、IBEXエアラインズの期間限定便が就航しております。

そこで、当路線の利用促進を図るため、県では、搭乗者限定のプレゼントキャンペーンを実施しています。

令和三年八月一日(日)から令和三年十月三十日(土)の間に、IBEXエアラインズの便名が付与された航空券で、新千歳と福島空港間の路線を利用いただいた方が応募でき、搭乗一回につき一口の応募となります。

応募方法は、IBEXホームページ内専用サイトの応募フォームより必要事項を入力の上、ご応募いただく形になります。また、応募締め切りは令和三年十一月五日(金)までとなっております。

当選賞品には、福島牛や福島の地酒などもございますので、この機会にぜひ当該路線を利用いただき、キャンペーンにご応募ください。

併せて、同期間中に、新千歳空港から福島空港のIBEX便を往復で利用された方が、福島空港からレンタカーを利用する場合、レンタカー代を五千円割引するキャンペーンも実施しています。

福島空港をご利用の際には、こち

らもぜひご利用ください。

(※応募方法や詳細については、次に掲載しておりますQRコードからIBEXエアラインズのホームページに飛べますので、それぞれのページをご覧ください。)



【搭乗者限定プレゼントキャンペーン】



【レンタカー割引キャンペーン】

新任職員紹介

福島県北海道事務所 主査

内海 優美子(出身 福島市)



四月から北海道事務所勤務となりました、内海と申します。

昨年度着任された加藤さんと同じく、私も大学時代に四年間札幌で生活をしていました。大好きな北海道で今度は社会人として生活できる日が来るとは、驚きと同時に楽しみで胸を膨らませております。

こちらに異動してきてから、道内各地に福島県とゆかりのある地域がたくさんあることを教えてもらいました。新型コロナウイルス感染症が落ち着いてきましたら、ぜひ各地を訪問し、県人会の皆様からいろいろなお話を聞かせていただけたらなあと思っております。

北海道の皆さんに福島の美味しい農産物や県民の皆さんの温かい人柄など、たくさんの方の魅力を少しでも多く伝えていけるよう頑張っておりますので、今後ともどうぞよろしく願っています。



【福島市の名所「花見山」】